

2010.1

シルバー こうべ

編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンパル10階)

●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066
●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181
●西部センター／621-6880 ●本 部／252-0316

電話番号はおかけ間違いのないようお願いします

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

理事長あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当シルバー人材センターは、昭和57年2月に設立され、今年で29年目を迎えることとなりました。これも会員皆さま、諸先輩方の誠実で意欲的な就業への取り組みが発注者に高く評価され、センターへの安心と信頼を築き上げてきた賜物と感謝申し上げます。

平成20年度の事業実績は、会員数10,956人、契約金額40億6千万円となり、一昨年のアメリカに端を発した世界同時不況の影響を受け、契約金額は前年度を下回ることとなりました。更に今年度につきましても昨年度を下回る水準で推移しています。

このような状況の下、新規就業開拓を一層進めるために「神戸市シルバー人材センター就業開拓推進プロジェクト」を昨年7月に立ち上げ、全センターを挙げて就業開拓の重点化や集中化に取り組んでいるところです。

会員の皆さまにおかれましても、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき一層の自主的な取り組みと、シルバー事業拡大にむけたご協力、ご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆さまのますますのご健勝とご活躍、また本年が「虎千里を駆ける」実り多き年となりますことを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

財団法人 神戸いきいき勤労財団
理事長 熊取谷 護



配分金支払日のお知らせ

12月分 1月19日(火)	1月分 2月15日(月)	2月分 3月15日(月)	3月分 4月15日(木)	4月分 5月20日(木)
------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

東部センター



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お元気に健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、東灘区・灘区を担当します東部センターの会員数は2,300名を超えて順調に増加しております。一方で、世の中の景気の後退により仕事の受注は弱含みに推移しておりまして、シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいと言わざるを得ません。

そうした状況のもとではありますが、私どもには就業機会の増大が求められております。会員の皆様がおひとりでも多く就業の機会が得られますよう、就業開拓に一層の努力をしておりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

言うまでもなく、シルバー事業の発展には会員の皆様と発注者の気持ちが一体となって進んでいくことが大切です。お互いの信頼関係を築きながら安全就業に心がけていく所存であります。

最後になりましたが、今年が皆様にとってお元気で素晴らしい1年になりますよう祈念申し上げます。

東灘区、灘区を担当



〒658-0026
 神戸市東灘区魚崎西町1丁目1番58号
 (六甲ライナー南魚崎駅西側100メートル)
 電話 857-3601
 Fax. 857-3602

中部センター

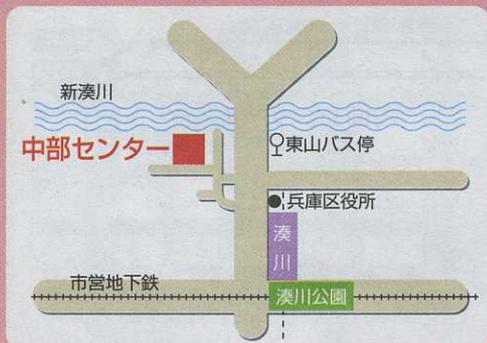


新年明けましておめでとうございます。

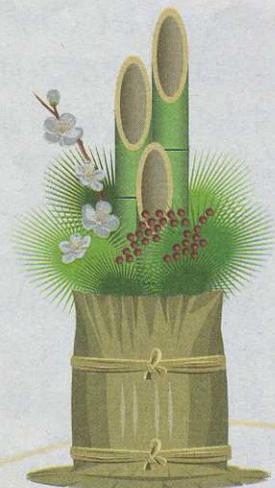
会員の皆様におかれましては、益々ご健勝で、良いお年を迎えられた事とお喜び申し上げます。

今年は、去年の景気低迷を吹き飛ばすような良い年になりますように、私ども中部センターの職員一同も一丸となって、就業促進に取り組む所存です。会員確保や受注拡大にあたっては、シルバーパワーの本領を発揮する為にも、職員のみならず会員の皆様ともどもの活動が大切です。本年も昨年と同様のご協力、ご支援を賜りますようお願いしまして、新年の挨拶といたします。

中央区、兵庫区を担当



〒652-0042
 神戸市兵庫区東山町4丁目20番1号
 (湊川児童館2・3階)
 電話 521-8000
 Fax. 521-8330



西部センター



新年、明けましておめでとうございます。

西部センターは、長田区・須磨区・垂水区の3区を担当し、市内5センターの中でも大きいセンターです。会員数も4,200人を超え神戸市全体の34%を占めています。

新年早々少し暗い話で恐縮ですが、今の世の中「働きたいが、仕事がない」時代ではないでしょうか。有効求人倍率(全国の公共職業安定所に申し込まれている求職者に対する求人数の割合)は、0.45倍(今年の11月実績)と低く、西部センターに於いても会員数は増加しているのに、発注者は逆に減少傾向という厳しい状況が続いています。神戸市シルバー人材センターでは、おひとりでも多くの会員さんに就業の場を紹介出来る様に、昨年7月に「就業開拓プロジェクト」を設け、現在組織を挙げて就業開拓に取り組んでいます。

西部センターでは、初めての試みとして三区内の事業所・社会福祉施設関係・学校園等にダイレクトメールの発送、二人の就業開拓員による企業訪問の強化など、就業場所の拡大に努めていますが継続しての取り組みが重要と考えています。

一方、このような取り組みが功を奏するには、一刻も早く日本の景気が好転して神戸の商工業や街に活気が出て来る事が何より先決と思います。(新長田の若松公園には、「原寸大の鉄人28号」のモニュメントが登場し、来場者も多く街に明るさが出て来ています。)

シルバー人材センターの事業は「多くの高齢者に就業の場を通じて、健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の福祉向上、活性化に貢献する事」を目的としております。

今年は、あの阪神淡路大震災から15年の節目の年でもあります。我々職員一同更に努力をして参りますので、会員の皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

長田区、須磨区、垂水区を担当



〒653-0039
 神戸市長田区日吉町3丁目1番10号
 (市営日吉住宅1階)
 電話 621-6880
 Fax. 621-2277

北区センター



菊地
(除草・剪定)

吉田
(就業開拓)

井上
(就業開拓)

井月
(本区)

大前
(配布・単発)

高原
(庶務)

中本所長

水町
(北神)

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

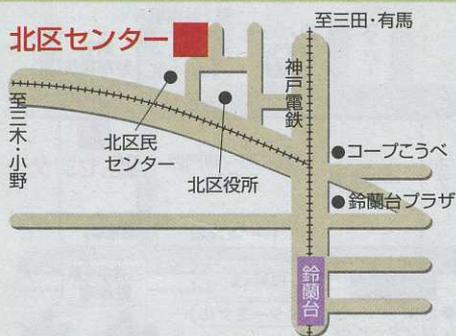
北区センターでは、これまで毎年4千万円あまり業務量を順調に拡大してきましたが、平成20年度は初めて減少に転じ、3千万円あまり減少の4億8千万円となりました。21年度も引き続き減少傾向が続いています。この結果、会員の就業率も54%から50%に低下し、大変申し訳なく思っております。これは、昨年からの不況や新型インフルエンザ等の影響による企業業績の低迷による所が大きいと思われます。

当センターにはこれまでから1名の就業開拓員が配置されておりましたが、昨夏より就業開拓員がもう1名増員されよりきめ細かく就業開拓に努めているところです。本年は、より仕事量の増加に取り組んでいく決意です。

一方、会員の皆様のこれまでの実績から、シルバーは仕事ぶりも丁寧で値段もリーズナブルだという評価も定着してきており、剪定・除草を初め地域のこまごまとした「ご要望」「お仕事」は増えてきております。今後とも、会員数や仕事量の増加に努めていきたいと考えております。

今年も、会員の皆様におかれましては、くれぐれも健康管理に留意され、お元気で活躍いただきたいと願っております。どうか、本年もよろしくお願い申し上げます。

北区を担当



〒651-1114
 神戸市北区鈴蘭台西町1丁目22番1号
 (北市民センター東隣)
 電話 596-3181
 Fax. 594-5125

西区センター



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、シルバー人材センター事業の推進にご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本格的な高齢化社会が進む中で、国内外に於ける社会経済状況は大きく変化しております。

このような状況の中で、当センターも平成9年に開設されて今年で12年を迎えますが、西区の加入会員数も、昨年末で2,100名を超えました。これは、1年前に比べて200名以上の増加となり、シルバー事業を支える大きな力となっております。

一方、近年の世界不況等も起因し、会員の皆様の活躍の場を確保することが厳しくなっており、平成20年度、当センターも初めて年間契約額が前年度に比べマイナスとなりました。

このことから、一日も早くこのような流れから脱し、時代の変化に相応した事業の推進を図るため、昨年8月から、「就業開拓推進プロジェクト」をスタートさせ、会員の皆様の就業の場を拡充することをはじめとして、事業の更なる活性化に向けセンター職員一丸となって取り組んでおります。

申すまでもなくプロジェクトの目的達成は、一人、センターだけでは成し得ません。会員の皆様と共に力を合わせ、区民、事業者の皆様に信頼され、愛されるシルバー事業の一層の促進に努める必要があります。

今後さまざまな時代の変化が予想されますが、課題をチャンスに生かすことの大切さは歴史の示すところです。

西区センター職員一同、このことを肝に命じ、改めて、シルバー事業の「自主・自立、共働・共助」の原点に立ち返り、会員の皆様の就業を通じた生きがいづくりの促進に全力で取り組んでまいります。

新年を迎えるにあたり、改めて会員の皆様のご健勝を祈念申し上げるとともに、事業の推進に一層のご理解ご協力をお願い申し上げて新年のご挨拶いたします。

西区を担当



〒651-2273
 神戸市西区梶台5丁目6番1号
 (西区民センタービル内6階)
 電話 993-0066
 Fax. 997-0082

配分金と確定申告について

平成21年中の就業に対して配分金を受け取られた方は申告をお願いします。なお、所得税法上の配分金取り扱いについて簡単にお知らせします。

1. 配分金の取り扱い

シルバー人材センターで就業した場合、会員のみなさんとセンター、または発注者との間に雇用関係は生じません。会員のみなさんが受け取られた配分金は、所得税法上「雑所得」として取り扱われ、必要経費として最高65万円までの特別控除が認められます。

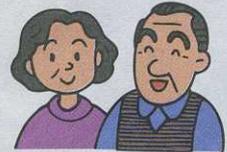
2. 控除額

配分金以外に所得税法の対象となる所得がない場合は、基礎控除38万円と特別控除65万円をあわせて103万円の控除額となります。配分金以外に所得税法の対象となる所得がある場合は、基礎控除38万円、特別控除65万円(上限は配分金額)、公的年金等控除(下表参照)、その他の所得控除をあわせた額が控除額となります。

3. 公的年金等の控除額一覧表

◎年齢が65歳未満の場合(生年月日が昭和20年1月2日以降の方)

公的年金等の収入額	公的年金等の控除額
～130万円以下	70万円
130万円超～410万円以下	公的年金等の収入額×25%+ 37.5万円
410万円超～770万円以下	公的年金等の収入額×15%+ 78.5万円
770万円超～	公的年金等の収入額× 5%+155.5万円



◎年齢が65歳以上の場合(生年月日が昭和20年1月1日以前の方)

公的年金等の収入額	公的年金等の控除額
～330万円以下	120万円
330万円超～410万円以下	公的年金等の収入額×25%+ 37.5万円
410万円超～770万円以下	公的年金等の収入額×15%+ 78.5万円
770万円超～	公的年金等の収入額× 5%+155.5万円



4. 管轄税務署一覧表

配分金の所得税法上の詳しい取り扱いについては、最寄の税務署にお問い合わせください。

区	管轄税務署・電話番号		区	管轄税務署・電話番号	
東灘区	芦屋税務署	0797(31)2131	長田区	長田税務署	(691)5151
灘区	灘税務署	(861)5054	須磨区	須磨税務署	(731)4333
中央区	神戸税務署	(391)7161	垂水区		
兵庫区	兵庫税務署	(576)5131	西区	明石税務署	(921)2261
北区					

5. 配分金支払証明書

平成21年中に就業のあった方全員に、所得税の確定申告用の「配分金支払証明書」を1月末頃に別途郵送いたします。

なお、配分金支払証明書には、平成21年12月就業分の配分金額が含まれています。これは、年内にその金額をお支払いしてはませんが、収入が確定しているためです。

紙面講座
第4回

老年期の発達

神戸市看護大学 沼本 教子 教授

「人間は生涯をとおして発達する存在である」という考え方を、E.H.エリクソンという人が言っています。みなさんはどのようにお考えですか。子どもは「成長・発達」する存在として誰もが認めるところですが、「発達」という言葉は老年期には当てはまらないのではないか、と思われる方もいらっしゃるでしょう。エリクソンが提唱した心理社会的人生段階のモデルを図1に示しました。人間の成長段階には8つの段階があり、それぞれの段階には発達課題と課題を達成したときに得る人間としての強さを示しています。

							(老年期) 統合 絶望 英知
						(成年期) 生殖性 自己投入 世話	
					(青年前期) 親密性 孤独 愛		
				(思春期) アイデンティ 混乱 忠誠			
			(学童期) 勤勉性 劣等感 才能				
		(遊戯期) 自発性 罪悪感 決意					
	(児童初期) 自立 恥と疑惑 意志						
(幼児期) 基本的信頼 基本的不信 希望							

図1 心理社会的人生段階のモデル(E.H.エリクソン)

老年期とはどのような発達の段階なのかをみてみましょう。老年期には発達課題として、「統合」と「絶望」のバランスをうまくとっていくこと、それによって得られる力としての「英知」、つまり人生の終局としての「死」を目前にして超然とした関心を寄せることができるのだとしています。少し、小難しく聞こえますが私の解釈ではこうです。人間は歳をとってくると体力的な低下/衰退/喪失を体験し、希望や生きがいを見失いがち(絶望)になります。そうした身体的な自己概念(自分自身についての認識)を立て直すためには、その変容を迫られます。しかし、人間には身体的な衰退を乗り越える力も備わっていて、自分の人生を振り返ることにより自身を納得させることができます。人生を「統合」ということは、高齢者が多少の健康の不調を抱えながらも、長寿を自分らしく、自身の人生に納得して生き抜いていくことであるといえます。

さて、それではどのようにすれば人生の統合性は得られるのでしょうか。私たちは長い人生を生きる中でさまざまな危機を体験し、それを克服してきています。例えば青年期における挫折の危機、中年期における子育てや仕事上の危機、そして定年を迎えての危機を乗り越えてきているともいえます。そして迎える長い老年期といわれる時間が訪れます。私たちは老年期における厳しい現実、例えば病気や障害を得て要介護の状態などに直面していきますが、一方でそれを越える豊かな「経験」と「知恵」をもっている存在でもあります。自己の人生を再吟味し、自己の再確立していく時間が老年期であるともいえます。その時間の経験をとおして私たちは発達し続ける存在になれるのだと思います。人生の再吟味をするということ、それはどのようなことをすることなのでしょうか。簡単なこととして自分の人生を振り返って、誰かに語る、文章に書く(日記や自分史など)ことが挙げられます。図2に示したように、「結晶性知能」(学習と経験の融合としての知能、言語性テストに関連している)「言語性IQ」は老年期にも維持されるという研究結果も出ています。

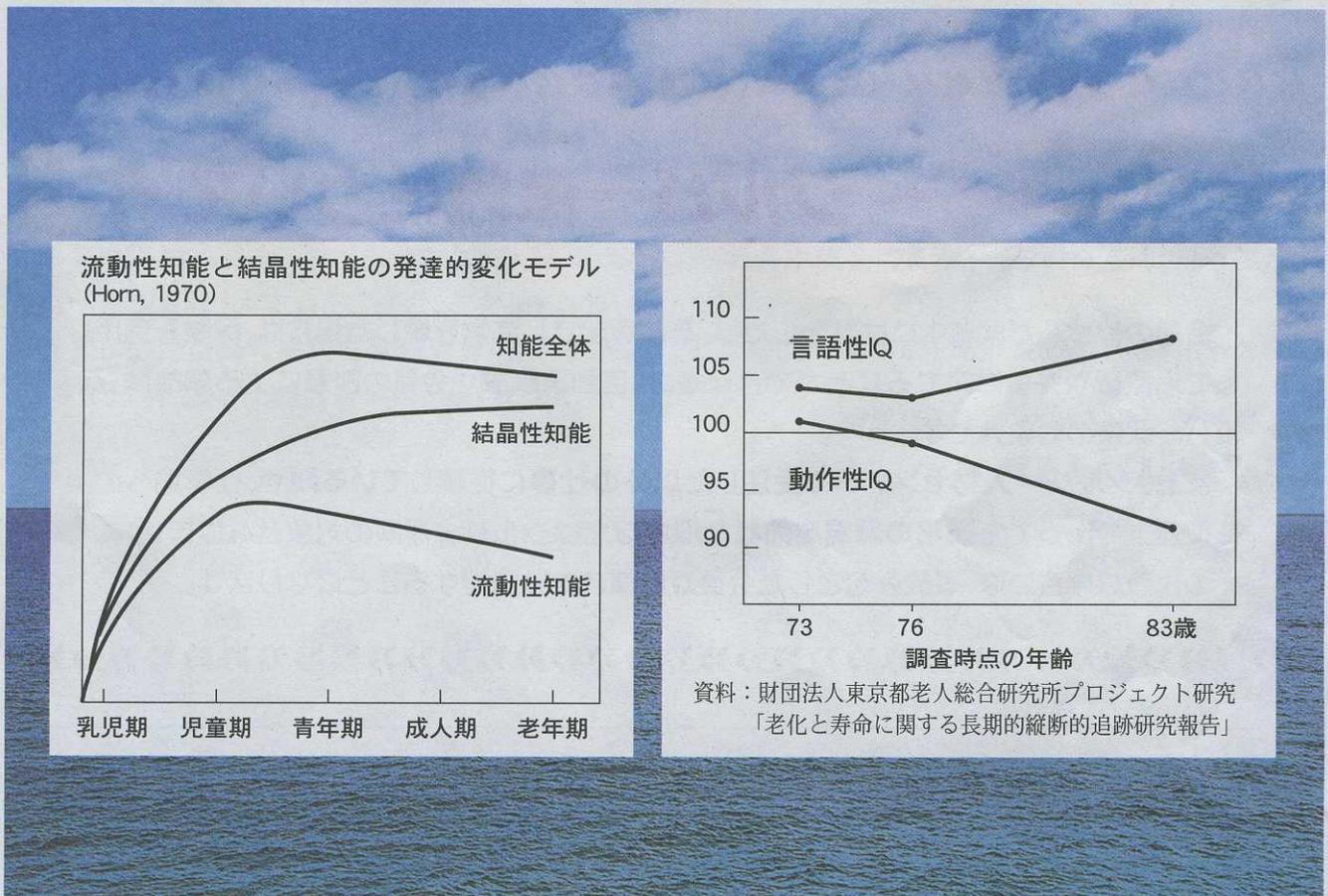
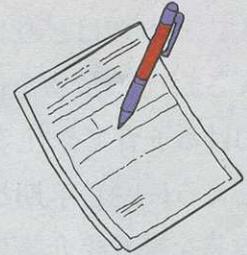


図2 流動性知能と結晶性知能の発達的変化のモデル

振り返る能力を支える「ことば」の能力は衰えません。自分の過ごしてきた人生に率直に向き合い、どのような人と出会いどのような仕事(さまざまな役割の)をしてきたのかを辿る、そしてこれからの生き方を考える時間が大切になってきます。「自分もよく頑張ってきたなあ」「いろんな人との出会いの中で自分は支えられてきたのだなあ」と思えるような振り返りができるようになると老年期を生き抜いていく希望がもてるのではないのでしょうか。

会員継続調査を実施します

シルバー人材センターでは、会員みなさんに1年に1回、会員登録を継続されるかどうかを確認しなければなりません。本年も会員継続調査を実施いたしますのでご協力いただきますようお願い申し上げます。



1. 調査の対象となる方
平成21年9月30日までに入会された方のうち、平成21年10月から平成22年1月までの4ヶ月間に就業する機会がなかった方。
2. 調査方法
対象となる方には、2月中旬に調査票（往復はがき）を郵送いたします。調査事項にご回答のうえ必ず締切日までにご返送ください。回答がない場合は、会員を継続する意思がないものとして登録を取り消しますのでご注意ください。
3. 締切日
平成22年3月10日（水）期日厳守でお願いします。

会員のみなさんへ

～シルバー保険について～

会員の皆さんが就業中にけがをしたり、事故を起こして物を壊した場合は、保険を適用して治療費や弁償に充てることができますが、自動車事故や会員の故意による事故はシルバー保険の対象外です。

また、シルバー人材センターで受注した以外の仕事に従事している間や、仕事場への往復途上であっても通常の経路を外れた場合などはシルバー保険の対象となりません。そのような場合には、事故を起こした会員が賠償または負担することになります。

勤労市民センター“平成22年度春季定例講座”受講生募集!

申込受付期間 2月20日(土)～3月8日(月)

各勤労市民センター・勤労会館では、文化・趣味・スポーツなどの春季定例講座受講生を募集します。募集受付期間は、2月20日(土)から3月8日(月)までです。募集パンフレット・申込書は、各勤労市民センター・勤労会館・区役所などで2月中旬に配布します。申込方法など詳しくは下記までお問い合わせください。

- (財)神戸いきいき勤労財団 生涯現役支援課 ☎251-5561
- 勤 労 会 館 ☎232-1881
- 六甲道勤労市民センター ☎841-1711
- 兵庫勤労市民センター ☎576-0981
- 新長田勤労市民センター ☎643-2431
- ピフレホール ☎621-1120
- 垂水勤労市民センター ☎708-8901

